

会議名	第2回千郷地域協議会		公開
日時	令和年6月19日(水) 午後7時00分～午後9時20分	場所	西部公民館 多目的ホール
出席者	(委員) 小林光治、今泉義徳、萩平博之、奥平俊、長瀬三平、鳥居重幸 小林保洋、中尾文彦、中野克俊、伊藤五十人、藤田光利、小山嘉之 鶴井良久、荏原徹、山本忠史、近藤武、渡邊万奈未、平井幸枝 辻小百合、浅井泰博、近藤雅英、浅賀詳隆、藤原義秋、玉井悦子 山本松宏		
	(事務局) 千郷自治振興事務所：鈴木所長、宮本主査 企画部自治振興課：白頭主事		
欠席者	(委員) 渡邊力夫、岡山薫	傍聴者	2名
配布資料	次第、資料1地域活動交付金審査会当日の流れ、資料2令和元年度千郷地域活動交付金事業申請一覧、資料3審査会の取決め事項、資料4審査会会場レイアウト、資料5千郷地域自治区地域活動交付金審査基準、資料6採点票(記載例)、資料7千審査除外者一覧表、資料5地域活動事業における評価判断の目安、資料5工程表(案)、資料9勉強会グループ分け一覧		

### 議題・議事・発言等(要点記録)

#### 1 開会

会長(荏原徹氏)より開会にあたり、本日の出席者数が定数に達している旨の説明とこれに伴い本協議会が成立することの報告を行った。

#### 会長あいさつ

会長が挨拶を行った後、次第に従い2報告事項に入る。

#### 2 報告事項

事務局より「地域活動交付金の審査方法について」資料1から資料8を活用し報告を行った。

(報告事項についての質疑・意見等特になし。)

#### 3 議事

議事に先立ち、会議録署名委員を会長より指名。

順番により「萩平博之」委員と「奥平俊」委員の2名を指名し議事に入った。

##### (1) 第3回千郷地域協議会の一部非公開について

事務局より、一部非公開の内容及び、非公開にすべき理由について説明。

(一部非公開の内容)

公開審査終了後に予定している「審議」

(非公開にすべき理由)

率直な意見の交換又は意思決定の中立性が不当に損なわれる恐れがあり、また、不当

に市民の間に混乱を生じさせる恐れがあるため。

また、申請事業毎に審議することとし、その際申請団体の「構成員」又は「居住地」の理由により「審査しないとした方」は「審査しないとした事業」を審議する場合において審議会場より退席をお願いする旨を説明した。

以上の説明終了後、会長より委員に対し質疑、意見等を求めたが、特に意見・質問・異議等の発声も無かったことから、採決により「(1) 第3回千郷地域協議会の一部非公開について」は議案のとおり「一部非公開」とすることとして全会一致により承認された。

## (2) 地域活動交付金事業2次募集について

事務局より、本年度の交付金募集期間4月1日から5月31日までの2ヶ月間をもって満了したこと、さらに今回の募集期間中に14件の申請があり受理し、申請額合計が千郷地域自治区予算枠6,293,000円に対し3,962,000円であり、審査においてこれら団体の申請が仮にすべて採択となった場合でも予算執行可能枠として2,920,000円が活用可能な状況にある旨の説明を行った。

また、2次募集を実施する、しないの判断材料として「募集期間中の相談状況」、「昨年度より各戸配布を実施し広く周知を図り実施した事」、「他地域に比べ本地域は相談期間も含め十分な募集期間を設けており、申請にあたっての検討期間は十分であると考えられる事」、「地域活動交付金事業も7年目となり、それぞれ団体が事業趣旨を理解、また、見直しがなされ申請件数が減少してきたのではないかという事」、「千郷地域の課題解決や活性化に向けた取組であるかどうか重要であり、予算枠がまだ執行可能であるとか、資金が残っているという判断ではない事」、「現在相談を受けている案件はない事」を踏まえ慎重にご判断していただきたい旨の説明、また併せて2次募集を実施することとなれば、当然協議会の開催数も増え委員の皆さんにはその都度出席いただく必要が生じ、これに伴う報償費支払額についても嵩むこととなる旨を説明した。

<主な質問・意見>

(委員)

本協議会の過去の対応や、他の地域協議会の状況を教えてほしい。

(事務局)

過去、本協議会においても予算執行可能枠に達していない場合に2次募集を実施したことはありますが、その理由としては制度が施行開始しあまり年数が経過されていないことから、広く地域に制度周知をし有効に活用して欲しいなどの理由によるものであった。

また、予算執行可能枠に達していない地域でも2次募集を実行している地域協議会は新城地区では本年度はない。

なお、昨年度は予算執行可能枠3,802,000円があったが2次募集は実施していない。

(委員)

本年度予算枠の未執行が発生した場合、来年度の千郷地域活動交付金に影響するか。例えば減額されて予算が決定されてしまうとか。

(事務局)

そのようなことはありません。予算枠については勉強会でもご説明したとおり決められた算出根拠により毎年度決定される。

(委員)

本年度未執行分は来年度に上乗せして予算措置されることとなるのか。

(事務局)

そのようなことはなく、来年度も決められた算出根拠に基づき予算措置される。

(委員)

予算執行可能枠に達していないからという理由で2次募集を実施するというのは違和感を感じる。先ほど事務局からの説明があったように、比較的千郷地域は申請相談機関から受付期間を長く設定している。そのようなことを考えれば実際にその申請受付期間にしっかり間に合わせて提出してきた申請団体に対しても公平性に欠けると思われる。

以上のほか、特に意見・質問等も無く、採決により2次募集することに賛成1名、反対23名の結果となり「(2) 地域活動交付金事業2次募集について」は、2次募集は実施しないこととして決定した。

#### 4 その他

##### (1) 第3回千郷地域協議会の日程について

令和元年6月23日(日) 13:00

次回の協議会は「地域活動交付金審査会」としての位置づけとして開催。

##### (2) その他

①令和元年度の地域自治区予算で予算措置されているものの早期着手の依頼。

②本年度も例年同様「地域とこどものふれあい事業」について千郷地域子育て連絡協議会に業務委託。(予定:6/22(土)千郷神社にて「お出かけちさとプレーパーク」・8/31(土)、9/1(日)千郷小学校にて「ちさとプレーパーク」の開催予定)

上記(1)から(2)についてそれぞれ事務局より報告・説明等を行った。

#### 5 閉会

閉会后、休憩を挟み「地域活動交付金事業審査会勉強会」を実施。

※実施内容:A~Dグループに分かれ、それぞれグループの担当の申請毎に事業の疑問点の抽出を実施し、審査会前に申請団体に対し質問票を通知するための作業を行った。後日、事務局より整理された質問票は各申請団体へ通知される。